

神戸 戸は1995年1月17日に阪神・淡路大震災を経験し、復興のまちづくりの中でユニバーサルデザインに積極的に取り組んできました。

神戸市はユニバーサルデザインに対して、市民活動を中心とした「こうべ UDひろば」の活動や、こうべだれでもトイレ設置事業者を中心とした「こうべ UD都市づくり交流会」の活動を推進しています。また、長田区では官民が一体となった「長田UD研究会」が活発な活動を実践しています——。

[第2回] 神戸芸術工科大学芸術工学研究所シンポジウム

神戸から考える

東日本大震災の被災者の半数以上は高齢者や障害のある人たちでした。災害復興においては誰もが等しく参加できる社会づくりが求められます。持続可能な社会は決して一部の人々のためのものであってはならず、持続させるに値する社会が構築されなければいけません。誰をも排除することのない包摂するデザインを目指すインクルーシブデザインは、ユニバーサルデザインと目的を同じくする英国生まれの考え方です。

災害とユニバーサルデザイン

世界のさまざまな地域のさまざまな状態の人々を対象にインクルーシブデザインを実践されてきたジュリア・カセム氏と障害のある人たちの生きる場づくりを市民運動として展開してこられた播磨靖夫氏に基調講演をいただき、官・民・学のそれぞれの立場からユニバーサルデザインについて考えてみたいと思います。

災害と ユニバーサル デザイン

2012.12.1 (sat) 13:00-17:00

開場／12:30

会場／デザイン・クリエイティブセンター神戸 1階

料金／無料

13:00 挨拶……………古賀俊策（神戸芸術工科大学芸術工学研究所 所長）

13:05 基調講演……………「インクルーシブデザインのコンテクスト
～デザインプロセスと製品、そしてその結果」

ジュリア・カセム（インクルーシブデザイン研究所 代表取締役）

14:05 基調講演……………「アートとソーシャルインクルージョン」
播磨靖夫（財団法人たんぽぽの家 理事長）

15:05 休憩（10分）

15:15 報告……………「神戸市の復興とユニバーサルデザインの歩み」
水野祐司（神戸市保健福祉局）

15:35 報告……………「応急仮設住宅と復興住宅へのUDからの視点」
相良二朗（神戸芸術工科大学 教授）

16:05 パネルディスカッション・質疑応答

パネラー……………ジュリア・カセム
播磨靖夫
水野祐司
相良二朗

モデレータ……………谷口文保（神戸芸術工科大学 准教授）（敬称略）

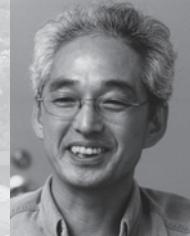
17:00 終了

企画・運営／神戸芸術工科大学芸術工学研究所

見寺貞子、相良二朗、かわいひろゆき、谷口文保

後 援／神戸市、芸術工学会、日本福祉のまちづくり学会関西支部

お問い合わせ／神戸芸術工科大学 Tel:078-794-2112



ジュリア・カセム CASSIM Julia
(インクルーシブデザイン研究所 代表取締役)
英国王立芸術大学ヘレンハムリンセンター客員シニアフェロー。マンチェスター芸術デザイン大学で美術を学んだ後、文部科学省の奨学金を得て東京芸術大学彫刻科に留学。ニューカッスル大学文化遺産センターにて芸術修士を取得。2010年に、世界のデザインに影響を与えた人と組織50選の一人に選ばれた。1971年から1998まで日本で過ごし、ジャパンタイムズ紙のアートコラムニストとして活躍。視覚障害を持つ人々のために美術館所蔵の美術工芸品を鑑賞する方法を研究する非営利団体、アクセス・ビジョンを設立した。また視覚障害や学習障害を持つ人々のための展覧会を手がけ、数々の賞を受けた。英國へ帰国後、2000年にヘレンハムリンセンターに加わり、以来、障害のある人々とデザイナーが共同で創造する関係の開発、つまり障害のある人々を取り巻く主流にある環境や製品、サービスなどをデザインするプロセスにおいて、革新的で包括的な考え方の中に彼らを巻き込む、インクルーシブデザインの方法論の確率に焦点をあてている。

播磨靖夫 HARIMA Yasuo
(財団法人たんぽぽの家 理事長)
新聞記者を経てフリージャーナリストに。障害のある人たちの生きる場「たんぽぽの家」づくりを市民運動として展開。アートと社会の新しい関係をつくる「エイブル・アート・マーチメント（可能性の芸術運動）」を提唱。「ケアする人のケア」「アートミーツケア学会」など、ケアの文化の創造にも取り組んでいる。平成21年度芸術選奨文部科学大臣賞（芸術振興部門）受賞。

水野祐司 MIZUNO Yuji
(神戸市保健福祉局)
1971年生まれ。神戸市在住。1999年4月に神戸市役所採用。生活保護ケースワーカー、産業振興局調査係、国民健康保険収納担当を経て、2010年に保健福祉局総務部計画調整課ユニバーサルデザイン推進係長に着任。その年のチャレンジ研究として「ユニバーサルデザインのさらなる推進に向けて～しあわせのUD村プロジェクト」を報告。市のUD啓発事業として、UD出前授業、地域のUD取材、夏休み子どもUD教室などに取り組む。

相良二朗 SAGARA Jiro
(神戸芸術工科大学 教授)
1954年佐賀県生まれ。神戸市在住。1977年から1998年まで兵庫県社会福祉事業団に在職。総合リハビリテーションセンターと福祉のまちづくり工学研究所に勤務。2000年から神戸芸術工科大学助教授を経て2004年から現職。こうべUD都市づくり交流会コーディネーター、兵庫県福祉のまちづくり運営委員、兵庫県ユニバーサル社会づくり審査委員などを担当。一般社団法人日本リハビリテーション工学協会会長、一般社団法人日本福祉のまちづくり学会関西支部長、芸術工学会事務局長。